

疾病対策課

疾病対策事業概要

1 健康危機管理対策事業

感染症の発生に備え、県内関係各機関との連絡体制を確認するとともに、県疾病対策課主催の感染症患者移送に係る合同実地訓練に参加するなど連携体制を深めた。

新型インフルエンザ等感染症に関しては、健康危機の発生に備えセンター内の体制整備を行とともに、情報伝達訓練、防護服着脱訓練、移送訓練を実施及び新型インフルエンザ対策物品を確認した。

また、地域の体制整備のため新型インフルエンザ等地域医療委員会の開催や新型インフルエンザ地域医療体制講演会を実施し、関係機関と情報伝達訓練、防護服着脱訓練、移送訓練を実施し地域の連携体制整備等強化を図った。エボラ出血熱に関しても、消防・警察と連携し、情報交換や訓練を実施し、体制整備に努めた。

2 疾病対策事業

(1) 結核予防事業

平成 26 年の結核患者の新登録患者数は 94(前年 113)人、罹患率(人口 10 万対)は 12.0(前年 14.5)であった。新登録患者は減少傾向であるが、肺結核のうち塗沫陽性患者の占める割合は 45.7(前年 41.3)%と横ばい状況にある。(表 1-(1)、(2))

感染症診査協議会への報告・諮問件数は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第 18 条に基づく就業制限通知・同法第 19 条及び第 20 条に基づく入院勧告が 220(前年 201)件、同法第 37 条の 2 に基づく医療費公費負担審査が 206(前年 227)件であった。(表 1-(8)-ア、イ)

DOTS(直接服薬確認療法)の強化を目的に、DOTS 支援員の派遣、薬局 DOTS の実施により個々の患者に対する服薬支援の向上に努めた。

平成 19 年 4 月に感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)に結核予防法が統合され、結核は 2 類感染症とされたが、本事業概要では結核に関しては結核予防事業として、感染症予防事業に含めずに計上する。

(2) 感染症予防事業

平成 26 年は、感染症法に基づく 1 類・2 類(結核は除く)感染症の発生はなく、3 類感染症は 25 人(前年 17 人)、4 類感染症は 14 人(前年 11 人)、5 類感染症(全数把握対象分)の発生は 72 人(前年 80 人)であった。

平成 26 年度は、デング熱の国内発生が 70 年ぶりに報告され、管内でも 2 人がデング熱と診断された。(感染場所は東京都・海外)

感染性胃腸炎の管内での施設内発生は 25 件(前年度 29 件)疑い 15 件で、学校・保育施設・高齢者施設等にて発生しており、調査、指導を実施した。(表 2-(7)-イ)

平常時対策として、医療機関の立入検査の際に、院内感染対策の視点から助言・指導を実施した。また、老人保健施設の監査指導に同行し、施設の衛生管理状況の把握と改善指導を実施した。更に、感染性胃腸炎の集団発生が多く見られる高齢者施設として今年度は通所施設を加え、乳幼児施設では幼稚園・認可外保育所を対象に研修会を開催し、感染症拡大予防策の周知を図った。

感染症情報の迅速な共有と関係機関の連携強化のため、平成 24 年 8 月より『松戸保健所感染症情

報ネットワークシステム』の運用を開始した。登録施設は平成 27 年 3 月 31 日現在 359 施設であり、その登録機関に感染症発生状況・注意喚起、法改正の情報等を月 1 回定期配信するとともに、臨時号を 12 回配信した。

昨年度の麻しん発生に関しては、『麻しん対策シンポジウム』を開催することで、地域の麻しん対策の推進を図った。

新型インフルエンザ等の感染症対策としては、新型インフルエンザ等地域医療委員会を開催し、地域の体制整備の推進と講演会で『新型インフルエンザ等に関する対応の体制整備と最新動向』に関し周知した。また、エボラ出血熱に関しては、消防や警察と情報交換や訓練の実施、所内体制の調整及び訓練を実施し、実際の発生に備えた。

(3) エイズ予防対策事業

HIV 抗体検査は昼間・夜間対応で実施し、平成 26 年度は 453 件であった（表 3-(3)）。同時に梅毒・クラミジア等性感染症についても検査を実施している。

エイズ予防啓発事業としては、学校管理者及び養護教諭、特別支援学校教諭等、対象別に研修会を開催し、学校における性感染症予防に関する啓発に努めた。

(4) 難病対策

特定疾患治療研究事業及び特定医療費（指定難病）助成制度の受給者数は 5,214(前年度 5,180)人である（表 4-(1)）。平成 27 年 1 月から、難病の患者に対する医療等に関する法律（難病法）に基づく医療費助成が開始された。それまでの特定疾患治療研究費受給者は既認定者として 3 年間の経過措置の対象となり、法施行後の申請による新規認定者と区別される（表 4-(1)）（表 4-(2)）。

また、スモン、難治性肝炎のうちの劇症肝炎、重症急性膵炎は、難病法の対象疾患ではないため、特定疾患研究事業により医療費の給付を行うこととなった（表 4-(3)）。

重症患者認定者数は 577（前年度 601）人である（表 4-(4)）。重症患者認定者のうち寝たきり及びほとんど寝たきりの状態で長期にわたり介護を要する者に特別介護手当を支給しており、今年度の受給者は 33(前年度 33)人であった（表 4-(5)）。

特定疾患の患者やその家族が抱える医療や療養生活に関する問題等に対しては、医療・福祉関係者による会議への出席や研修会の開催、難病訪問相談員の派遣、保健師による相談（電話や窓口面接）や訪問指導を実施し、在宅療養支援を行った（表 4）。

(5) 原爆被爆者対策事業

「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」に基づき、被爆者手帳交付者に対し各種手当を支給及び被爆者の定期健康診断を年 2 回実施した。

(6) 肝炎対策事業

平成 20 年度から千葉県肝炎治療特別促進事業として、B 型肝炎・C 型肝炎に対するインターフェロン治療、また平成 22 年度から核酸アナログ製剤治療、平成 23 年度からインターフェロン 3 剤併用療法への公費負担による助成制度を行っている。加えて平成 26 年度 9 月からインターフェロンフリー治療も助成の対象となり、年度末までに、136 件の申請があった。

1 結核予防事業

(1) 管内結核患者登録者数の動向

表1-(1) 登録者数の年次推移

(単位：人)

年		平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
区分	管内人口	780,049	782,680	783,415	780,201	781,040	784,424
	新登録患者総数	r144	146	139	104	113	94
	登録者総数	378	375	358	321	285	256
結核死亡者数	管内	6	7	11	5	3	7
	千葉県	62	71	67	51	85	55
結核死亡率 (人口10万対)	管内	0.8	0.9	1.4	0.6	0.4	0.9
	千葉県	1.2	1.35	1.28	1.0	1.4	1.6
罹患率 (人口10万対)	管内	18.5	18.7	17.7	r13.3	14.5	12.0
	千葉県	17.2	17.0	16.3	r14.1	14.8	13.8
有病率 (人口10万対)	管内	11.5	12.8	10.8	r10.1	r6.8	7.6
	千葉県	11.9	11.9	11.4	r8.9	9.5	8.8

- (注) 1 人口は各年10月1日千葉県常住人口による。
 2 千葉県のデータには千葉市を除く。
 3 新登録患者及び登録者数は、無症状病原体保有者・疑似症患者を除く。

(2) 新登録患者数

表1-(2) 新登録患者数(活動性分類別)

(単位：人)

年 市町村	区分 総数	活動性肺結核				肺活 外 動 結 核性	罹 患 率 (10万対)	陽性 肺結核の うち塗抹 割合(%)	染 者 (潜在性 結核感 症)	無 症 状 病 原 体 保 有 (別掲)	疑 似 症 患 者 (別掲)	の 結 核 死 亡 体 者 (別掲)	の 結 核 死 亡 疑 い 者 (別掲)
		計	陽 咳 痰 塗 抹 性	菌 そ 陽 の 他 性	そ 菌 の 陰 他 性								
平成 24 年	104	90	44	26	20	14	13.3	48.9	70	-	1	-	
平成 25 年	113	92	38	40	14	21	14.5	41.3	39	-	-	-	
平成 26 年	94	81	37	30	14	13	12.0	45.7	84	-	1	-	
松戸市	69	61	28	25	8	8	14.3	45.9	68	-	-	-	
流山市	8	5	2	2	1	3	4.7	40.0	9	-	-	-	
我孫子市	17	15	7	3	5	2	12.9	46.7	7	-	-	-	

(3) 年末現在登録者数(活動性分類別)

表1-(3) 年末現在登録者数(活動性分類別)

(単位:人)

年 市町村	区分	総 数	活動性肺結核				肺活 外 動 結 核 性	不 活 動 性 結 核	不 明	(人口10万対) 有病率	無 症 状 病 原 体 保 有 者 (潜在性結核感染症)	疑似症患者
			計	陽 喀 痰 塗 性 抹	菌 そ 陽 の 性 他	そ 菌 の 陰 性 他						(別掲)
											(別掲)	
平成24年		321	63	25	21	17	16	227	15	10.1	151	-
平成25年		285	53	24	21	8	12	112	108	8.3	144	-
平成26年		256	46	24	15	7	7	154	49	7.6	189	-
松戸市		187	37	21	11	5	6	105	39	8.9	132	-
流山市		38	3	0	2	1	1	30	4	2.3	28	-
我孫子市		31	6	3	2	1	-	19	6	4.6	29	-

(4) 新登録患者数(年齢階級別)

表1-(4) 新登録患者数(年齢階級別)

(単位:人)

年 市町村	区分	総 数	0	5	10	15	20	30	40	50	60	70
			4	9	14	19	29	39	49	59	69	歳
			歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳
平成24年		104	-	-	-	1	7	14	8	9	20	45
平成25年		113	-	-	-	1	8	15	10	7	20	52
平成26年		94	-	-	1	-	5	6	12	10	13	47
松戸市		69	-	-	1	-	5	6	9	6	11	31
流山市		8	-	-	-	-	-	-	2	2	1	3
我孫子市		17	-	-	-	-	-	-	1	2	1	13

(5) 年末現在登録者数(年齢階級別)

表1-(5) 年末現在登録者数(年齢階級別)

(単位:人)

年 市町村	区分	総 数	0	5	10	15	20	30	40	50	60	70
			4	9	14	19	29	39	49	59	69	歳
			歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳
平成24年		321	-	2	-	3	27	48	34	30	54	123
平成25年		285	-	-	1	1	28	40	31	29	45	110
平成26年		256	-	-	1	-	21	34	29	25	44	102
松戸市		187	-	-	1	-	14	27	22	17	35	71
流山市		38	-	-	-	-	5	4	4	5	6	14
我孫子市		31	-	-	-	-	2	3	3	3	3	17

(6) 管理健診実施状況

表 1 - (6) 管理健診実施状況

(単位：人)

区 分 年 度	対象者数	受診者数	エックス 線 検 査 数	喀痰検査数		健 診 結 果			要医療率 (%)	受 診 率 (%)
				塗抹	培養	要医療	要観察	観察不要		
平成 24 年度	606	443	443	1	-	2	348	93	0.3	73.1
平成 25 年度	642	439	439	-	-	1	350	81	0.2	68.4
平成 26 年度	535	393	393	-	-	-	11	382	0	73.5
保 健 所		92	92	-	-	-	4	88		
委 託 分		35	35	-	-	-	4	31		
そ の 他		266	266	-	-	-	3	263		

(注) 平成 22 年度から 6 カ月毎の検診に変更となった。

(7) 結核接触者健康診断実施状況

ア 家族健診実施状況

表 1 - (7) - ア 家族健診実施状況

(単位：人)

区 分 年 度	対象者数	受診者数	ツ反 検査数	QFT 検査数	ツ反 かつ QFT 検査数 (再掲)	検 エックス 線 数	喀痰検査数		健 診 結 果				要医療率 (%)	受 診 率 (%)
							塗抹	培養	要医療	要観察	潜在性結核 感染症	異常なし		
平成 24 年度	362	326	10	46	2	276	-	-	5	22	3	296	1.4	90.1
平成 25 年度	365	325	10	51	5	218	-	-	1	12	8	304	0.3	89.0
平成 26 年度	288	258	3	89	3	176	-	-	2	2	5	249	0.3	89.6
保 健 所		92	-	-	-	92	-	-	1	1	1	89		
委 託 分		153	3	89	3	71	-	-	1	1	4	147		
そ の 他		13	-	-	-	13	-	-	-	-	-	13		

イ 接触者健診実施状況

表 1 - (7) - イ 接触者健診実施状況

(単位：人)

区分 年度	対象者数	受診者数	ツ反検査数	QFT検査数	ツ反かつQFT検査数(再掲)	検査エックス線数	喀痰検査数		健診結果					要医療率(%)	受診率(%)
							塗抹	培養	要医療	要観察	潜在性結核感染症	異常なし			
平成 24 年度	1,447	1,139	23	322	12	852	4	1	4	16	19	1,100	0.28	78.7	
平成 25 年度	1,545	1,414	175	402	170	838	13	12	1	41	50	1,322	0.06	91.5	
平成 26 年度	1,436	1,363	153	412	23	931	-	-	-	23	17	1,323	0	94.9	
保健所		506	130	-	-	376	-	-	-	6	11	489			
委託分		675	23	412	23	373	-	-	-	13	6	656			
その他		182	-	-	-	182	-	-	-	4	-	178			

(8) 感染症診査協議会の審議状況

表 1 - (8) - ア 就業制限・入院勧告・入院措置に関する報告、諮問状況 (第 26 条の準用分)

(単位：件)

区分 年度	総数	第 18 条		第 19 条		第 20 条	
		諮問 (第 1 項)	報告 (第 6 項)	報告		諮問	
				応急入院勧告 (第 1 項)	入院措置 (第 3 項)	入院勧告 (第 1 項)	延長入院勧告 (第 4 項)
平成 24 年度	253	-	53	53	-	50	97
平成 25 年度	201	-	45	44	-	44	68
平成 26 年度	220	-	45	49	-	43	83

表1-(8)-イ 通院患者に対する結核医療費公費負担審査状況(第37条の2)

(単位：件)

区分 年度	総 数			被用者保険						国民健康 保険			後期高齢者医療			生活保護法			そ の 他		
				本 人			家 族														
	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格
平成 24 年度	258	256	2	89	89	-	21	21	-	60	59	1	74	73	1	13	13	-	1	1	-
平成 25 年度	227	226	1	61	61	-	31	31	-	62	62	-	61	60	1	12	12	-	-	-	-
平成 26 年度	206	205	1	53	53	-	26	26	-	55	55	-	55	54	1	16	16	-	1	1	-

(9) 就業制限通知及び入院勧告並びに入院措置数

表 1 - (9) - ア 就業制限通知数 (単位：件)

区分 年度	総数
平成 24 年度	53
平成 25 年度	45
平成 26 年度	45

表 1 - (9) - イ 入院勧告数 (単位：件)

区分 年度	入院勧告数 (応急入院)	入院延長通知数
平成 24 年度	53	97
平成 25 年度	44(44)	68
平成 26 年度	43(49)	83

表 1 - (9) - ウ 入院措置数 (単位：件)

区分 年度	入院措置数
平成 24 年度	-
平成 25 年度	-
平成 26 年度	-

(10) ツベルクリン反応検査・QFT 検査実施状況

表 1 - (10) - ア ツベルクリン反応検査実施状況 (単位：人)

年度	ツ反検査数			発赤径			被検者の年齢			
	保健所	委託分	その他	陰性	30mm 未満	30mm 以上	0~5 歳	6~29 歳	30~49 歳	50 以上 歳
平成 24 年度	22	11	-	9	24	-	19	14	-	-
平成 25 年度	5	180	-	143	31	11	167	18	-	-
平成 26 年度	130	26	-	26	126	4	115	41	-	-

表 1 - (10) - イ QFT 検査実施状況 (単位：人)

年度	QFT 検査数	結果			
		陽性	判定 保留	陰性	判定 不可
平成 24 年度	368	22	19	327	-
平成 25 年度	453	17	14	421	1
平成 26 年度	501	29	34	436	2

(11) エックス線検査実施状況

表 1 - (11) エックス線検査実施状況

(単位：人)

年度	総 数		接 触 者		管 理	
	保健所	委託分	保健所	委託分	保健所	委託分
平成 24 年度	594	311	488	265	106	46
平成 25 年度	611	602	505	551	106	51
平成 26 年度	560	479	468	444	92	35

(12) 定期結核健康診断予防接種実施状況

表 1 - (12) 定期結核健康診断予防接種実施状況

(単位：人)

年度 区分	項目	対象者数	受診者数	受診率 (%)	B C G 接種数	コッホ現象報告数	間接撮影数	直接撮影数	喀痰検査数	発見患者数	ある者の数 発病の恐れが	
平成 24 年度		215,621	76,267	35.4	6,125	1	33,068	37,110	31	8	-	
平成 25 年度		224,280	78,913	35.2	5,553	6	31,828	41,532	9	2	-	
平成 26 年度		229,851	79,177	34.4	6,360	3	34,568	44,609	3	2	-	
内 訳	高等学校以上*	15,153	14,919	98.5	-	-	13,878	1,041	1	-	-	
	施 設	高齢者	2,542	2,431	95.6	-	-	806	1,625	1	-	-
		その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	市町村	191,468	42,080	22.7	6,360	3	12,437	29,643	-	2	-	
	事業所	20,688	19,747	95.5	-	-	7,447	12,300	1	-	-	

(注) * 教職員については事業所として計上する

(13) 結核関係予防啓発活動実施状況

表 1 - (13) 研修会実施状況

実施日	場所	内容	対象	参加 人員
平成 26 年 9 月 4 日	東葛合同庁舎 2 階 会議室	<u>結核事例検討会</u> ① 管内結核の発生状況について ② 市の結核健診の状況について ③ 事例検討 (2 事例) 助言者 臨床心理士 石川雅子	DOTS 支援員、保健師等	14
平成 26 年 10 月 16 日	平和台病院	<u>医療機関・高齢者施設における結核への対応</u> ① 管内結核の発生状況について ② 講演「医療機関・高齢者施設における結核への対応」 講師 結核予防会結核研修所 副所長 加藤誠也	医療従事者、介護関係従事者等	86
平成 27 年 1 月 30 日	松戸市衛生 会館 会議室	<u>乳幼児及び児童生徒に関わる保育及び教育関係者等結核研修会</u> ① 管内結核の発生状況について ② 講演「保育園・幼稚園及び小中学校における結核対策」 講師 ちば県民保健予防財団 副理事長・総合健診センター長 鈴木公典	保育士、幼稚園教諭、看護師、保健師、養護教諭等	36

2 感染症予防事業

(1) 1類感染症発生状況

表2-(1) 1類感染症発生状況 (単位：人)

年	疾患名	人数	市町
平成26年	-	-	-

(2) 2類感染症発生状況（結核は除く）

表2-(2) 2類感染症発生状況 (単位：人)

年	疾患名	人数	市町
平成26年	-	-	-

(3) 3類感染症発生状況

表2-(3) 3類感染症発生状況 (単位：人)

病類 年・市町	総数	疾患名				
		コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性 大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス
平成24年	24	-	1	23	-	-
平成25年	17	1	-	16	-	-
平成26年	25	-	-	25	-	-
松戸市	8	-	-	8	-	-
流山市	1	-	-	1	-	-
我孫子市	10	-	-	10	-	-
(管外)	6	-	-	6	-	-

(4) 1類感染症及び2類感染症並びに3類感染症発生に伴う健康調査及び検便実施状況

表2-(4)-ア 1類感染症発生に伴う健康調査及び検便実施状況

(単位：調査(人)、検査(件))

年 度	病 類	疾 患 名	調 査	検 査 (依 頼)
平成26年度		-	-	-

表2-(4)-イ 2類感染症発生に伴う健康調査実施状況(結核は除く)

(単位：調査(人)、検便(件))

年 度	病 類	疾 患 名	調 査	検 査 (依 頼)
平成26年度		-	-	-

表2-(4)-ウ 3類感染症発生に伴う健康調査及び検便実施状況

(単位：調査(件)、検便(件))

年 度	病 類	総 数		コレラ*		細菌性赤痢*		腸管出血性大腸菌感染症		腸チフス*		パラチフス*		菌陽性者数
		調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	
平成24年度		30	219	-	-	-	-	28	204	1	9	1	6	24
平成25年度		24	49	1	-	-	-	23	49	-	-	-	-	2
平成26年度		26	214	-	-	3	9	23	205	-	-	-	-	9

(注) * 施設調査件数を含む

(5) 4類感染症発生状況

表2-(5) 4類感染症病発生状況

(単位:人)

疾患名		平成24年	平成25年	平成26年
1	E型肝炎	-	-	-
2	ウエストナイル熱	-	-	-
3	A型肝炎	-	-	1
4	エキノコックス症	-	-	-
5	黄熱	-	-	-
6	オウム病	-	-	-
7	オムスク出血熱	-	-	-
8	回帰熱	-	-	-
9	キャサナル森林病	-	-	-
10	Q熱	-	-	-
11	狂犬病	-	-	-
12	コクシジオイデス病	-	-	-
13	サル痘	-	-	-
14	重症熱性血小板減少症候群 (SFTS ウイルスに限る)*	-	-	-
15	腎症候性出血熱	-	-	-
15	西部ウマ脳炎	-	-	-
16	ダニ媒介脳炎	-	-	-
17	炭疽	-	-	-
18	チクングニア熱	-	-	-
19	つつが虫病	-	-	1
20	デング熱	-	-	1
21	東部ウマ脳炎	-	-	-
22	鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9)を除く	-	-	-
23	ニパウイルス感染症	-	-	-
24	日本紅斑熱	-	-	-
25	日本脳炎	-	-	-
26	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-
27	Bウイルス病	-	-	-
28	鼻疽	-	-	-
29	ブルセラ症	-	-	-
30	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-
31	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-
32	発しんチフス	-	-	-
33	ボツリヌス症	-	-	-
34	マラリア	-	-	-
35	野兔病	-	-	-
36	ライム病	-	-	-
37	リッサウイルス感染症	-	-	-
38	リフトバレー熱	-	-	-
39	類鼻疽	-	-	-
40	レジオネラ	9	11	11
41	レプトスピラ症	-	-	-
42	ロッキー山紅斑熱	-	-	-

(注) * 平成25年3月4日より追加

(6) 5類感染症発生状況

ア 感染症発生動向調査事業に基づく全数把握対象感染症

表2-(6)-ア 5類感染症発生状況

(単位：人)

	疾患名	平成24年	平成25年	平成26年
1	アメーバ赤痢	3	12	9
2	ウイルス性肝炎(E型肝炎、A型肝炎を除く)	-	-	-
3	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 ^{*2}	-	-	2
4	急性脳炎(ウェストニル脳炎、西部ウマ脳炎、タニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎、リフトバレー熱を除く)	11	4	13
5	クリプトスポリジウム症	-	-	-
6	クロイツフェルト・ヤコブ病	2	1	3
7	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1	2
8	後天性免疫不全症候群	6	5	10
9	ジアルジア症	-	-	1
10	侵襲性インフルエンザ菌感染症 ^{*1}	-	1	1
11	侵襲性髄膜炎菌感染症 ^{*1}	-	1	-
12	侵襲性肺炎球菌感染症 ^{*1}	-	5	5
13	水痘(入院例に限る) ^{*2}	-	-	-
14	先天性風しん症候群	-	-	-
15	梅毒	5	8	7
16	播種性クリプトコックス症 ^{*2}	-	-	-
17	破傷風	-	-	-
18	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-
19	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	-	-
20	風しん	4	41	-
21	麻しん	-	1	19
22	薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-

(注) *1 平成25年4月1日より追加

*2 平成26年9月19日より追加

イ 感染症発生動向調査事業に基づく定点報告状況

1) 患者定点

表2-(6)-イ-1) - (ア) 患者定点医療機関数

インフルエンザ	小 児 科	眼 科	性 感 染 症	基 幹
25	16	5	6	1

表2-(6)-イ-1) - (イ) 定点把握対象疾患状況

(単位：人)

疾 患 名		平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
1	インフルエンザ(鳥・新型インフルエンザを除く)	12,147	7,935	13,428
2	RSウイルス感染症	410	495	592
3	咽頭結膜熱	231	588	475
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2,239	2,057	1,765
5	感染性胃腸炎	7,344	6,348	4,840
6	水 痘	1,134	1,015	871
7	手足口病	378	1,919	653
8	伝染性紅斑	76	33	296
9	突発性発しん	712	524	513
10	百日咳	22	11	14
11	ヘルパンギーナ	663	361	703
12	流行性耳下腺炎	292	121	650
13	急性出血性結膜炎	2	-	-
14	流行性角結膜炎	95	69	42
15	性器クラミジア感染症	174	180	161
16	性器ヘルペスウイルス感染症	49	56	72
17	尖圭コンジローマ	27	37	32
18	淋菌感染症	63	66	50
19	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	-	-	3
	*			
20	非クラミジア性非淋菌性尿道炎	72	69	69
21	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-

疾 患 名		平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
22	細菌性髄膜炎（髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因とする場合を除く）	2	4	2
23	マイコプラズマ肺炎	15	15	-
24	無菌性髄膜炎	6	11	8
25	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	-	2	-
26	メチリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	34	28	34
27	薬剤耐性緑膿菌感染症	2	1	2

(注) * 平成 26 年 10 月 14 日より追加

2) 病原体定点

表 2-(6)-イ-2) 病原体定点医療機関及び検体提供数

区 分	インフルエンザ	小 児 科	眼 科	基 幹
医療機関数	3	1	-	1
検体提供数	28	8	-	6

(7) 4類感染症及び5類感染症発生に伴う健康調査実施状況

表 2-(7)-ア 4類感染症健康調査状況

(単位:人)

区 分	疾 患 名	調 査
平成 26 年度	A型肝炎	3
	デング熱	2
	デング熱疑い	1
	レジオネラ	10

表 2-(7)-イ 5類感染症健康調査状況

(単位:件(人))

区 分	疾 患 名	調 査
平成 26 年度	麻しん・麻しん疑い	1(1)・13(13)
	感染性胃腸炎・感染性胃腸炎疑い	25(207)・15
	インフルエンザ	34

(注) ()内健康調査実施人数

(8) 衛生研究所への検査依頼数

表 2- (8) 麻疹・デング熱等

年度	確認検査 (PCR・ペア血清)実施数	内 訳	
		陽性	陰性
平成 26 年度	麻疹：14	1	13
	デング熱：6	2	4
	日本紅斑熱：1	-	1

(9) 管外での感染症発生（疑いを含む）に伴う調査状況及び検便実施状況

表 2- (9) 管外での感染症発生（疑いを含む）に伴う調査数及び検便実施数

(単位：調査人、検便件)

区 分 年 度	総 数	管外での感染症 発生に伴う調査数 (検疫通報除く)	自 調 査 数 自 主 申 告 に よ る	検 接 調 疫 触 査 通 報 者 数 及 び 同 行 者 に 伴 う	検 便 実 施 者 数	検 出 菌			
						コ レ ラ 菌	赤 痢 菌	腸 管 出 血 性 大 腸 菌	そ の 他
平成 24 年度	13	13	-	-	6	-	-	1	-
平成 25 年度	34	34	-	-	17	-	-	-	-
平成 26 年度	18	18	-	-	9	-	-	-	-

(10) 感染症診査協議会の審議状況

表2-(10) 就業制限・入院勧告・入院措置に関する報告、諮問状況（第26条の準用分を含む）（単位：件）

区分 年度	総数	第18条		第19条		第20条	
		諮問 (第1項)	報告 (第6項)	報告		諮問	
				応急入院 勧告 (第1項)	入院措置 (第3項)	入院勧告 (第1項)	延長入院勧 告 (第4項)
平成24年度	25	-	25	-	-	-	-
平成25年度	12	-	12	-	-	-	-
平成26年度	28	-	28	-	-	-	-

(11) その他

インフルエンザ様疾患届出状況

表2-(11) インフルエンザ様疾患届出状況（単位：件）

区分	届出施設数	届出患者数	措 置			
			学級閉鎖数	学年閉鎖数	休校数	その他
平成24年度	180	1,654	175	4	1	-
平成25年度	343	3,071	328	11	2	-
平成26年度	229	2,093	207	21	1	-
幼稚園	11	124	8	2	1	-
小学校	199	1,811	185	14	-	-
中学校	16	140	12	4	-	-
高等学校	1	12	1	-	-	-
その他	2	6	1	1	-	-

(その他：保育園等休園)

(12) 感染症関係予防啓発活動実施状況

ア 研修会開催状況

表2-(12)-ア 研修会実施状況

実施日	場所	内容	対象	参加人員
平成26年 7月24日	東葛合同庁舎 6階第一会議室	<u>乳幼児施設等における感染症予防対策研修会</u> ①管内の感染症発生状況 ②講演 『乳幼児の施設内感染予防について』 講師 千葉感染制御研究会代表 柴田幸治	障害児通園施設、 管内認可外保育 所、管内幼稚園、 市職員等	70
平成26年 8月7日	東葛合同庁舎 6階第一会議室	<u>高齢者施設等における感染症予防対策研修会</u> ①管内の感染症発生状況 ②講演『基礎から学び直す 感染症予防対策』 講師 千葉感染制御研究所 代表 柴田幸治	高齢者通所施設、 市職員等	53
平成26年 12月9日	松戸健康福祉セ ンター2階会議室	<u>エボラ出血熱に関する情報交換及び訓練</u> ①エボラ出血熱患者等発生時の対応について ～エボラ出血熱の最新情報と警察消防との 連携～ ②個人防護具の着脱訓練（実技）	各市消防の職員	17
平成26年 12月16日	松戸健康福祉セ ンター2階会議室	<u>エボラ出血熱患者等発生時の対応に関する訓 練</u> ①エボラ出血熱患者等発生時の対応について ②個人防護具の着脱訓練（実技）	管内警察の職員	16
平成27年 3月25日	松戸消防局	エボラ出血熱疑似症患者の移送訓練	松戸市消防署職員 保健所職員	37

イ その他啓発事業

1) 院内感染対策への指導

医療施設立入検査（36施設）の際に、院内感染のための指針や院内感染対策委員会の設置、研修会の実施、院内感染対策マニュアルの整備等に関し、院内感染対策の視点から検査・指導を実施した。1施設については、指針やマニュアル等について具体的に指導を継続実施した。また、集団発生に関しては、5施設に対して調査・指導を実施した。

2) 社会福祉施設等への感染症予防対策

介護老人保健施設（5施設）に対し、監査指導課に随行し、感染症対策に関して実地指導を実施した。また、感染症発生時には、随時疫学調査及び感染拡大防止のための指導を51施設に対して実施した。

3) 松戸市感染症連絡会議に出席し、感染症に関する周知啓発を図った。

臨時 日時：平成26年4月30日

内容：松戸市感染症対策本部等要綱の一部改正について 長谷川氏より説明
 新型インフルエンザ等対策市町村行動計画の策定について
 情報交換

4) 所内における感染症対策に関する研修会

表2-(12)-イ 所内研修会実施状況

実施日	場所	内容	参加人員
平成26年 4月21日 4月25日 午前・午後	会議室・指導室	AED操作・マスクのフィットテスト・防護服等着脱訓練	78
平成26年 9月5日	指導室	院内感染対策に関する研修会	14

(13) 松戸保健所感染症情報ネットワークシステム

管内における感染症情報の迅速な共有を図るとともに、松戸健康福祉センター（松戸保健所）と、関係機関の連携強化を図るため『松戸保健所感染症情報ネットワークシステム』を構築し、平成24年8月より運用を開始した。ネットワークシステム登録者（医師会・医療機関・歯科医師会・歯科医院・薬剤師会・薬局・市・教育委員会・学校・社会福祉施設等の関係機関等）に対し、感染症に関する情報を月1回定期的に一斉配信、また、必要に応じ随時、臨時で配信している。当初の登録機関は125件であったが、周知啓発により平成26年度末には359件の登録となった。平成26年度の感染症情報配信は、定期配信12回、臨時配信は12回であった。

表2-(13) 臨時配信状況

配信日	内容
平成26年4月8日	麻疹発生情報（終息）
平成26年5月19日	中東呼吸器症候群（MERS）に関する対応について
平成26年5月20日	HIV検査普及啓発イベント・インフルエンザ警報の解除について
平成26年7月25日	中東呼吸器症候群（MERS）の取り扱いについて
平成26年8月27日	デング熱の国内感染症例について
平成26年9月5日	デング熱について
平成26年9月19日	届出基準等の追加変更、デング熱診療ガイドライン（第1版）について
平成26年9月26日	第1回東葛北部感染対策地域支援ネットワーク基礎研修・結核予防週間について
平成26年11月19日	第2回東葛北部感染対策地域支援ネットワーク基礎研修・エボラ出血熱について
平成26年12月1日	インフルエンザ流行シーズン、ノロウイルスについて
平成26年12月18日	インフルエンザ注意報発令について
平成26年12月25日	インフルエンザ警報について

(14) 新型インフルエンザ等対策事業

ア 新型インフルエンザ等地域医療委員会

表2-(14)-ア 新型インフルエンザ等地域医療委員会開催状況

開催月日	出席者数	主な協議内容
平成26年9月3日	49名	I部 会議 『地域における新型インフルエンザ体制の整備について』 (1) 千葉県新型インフルエンザ等対応マニュアル (2) 市における行動計画・BCPの進捗状況 (3) 地域における医療対応の体制整備 新型インフルエンザ等に対するアンケート結果 特定接種 (4) 新型インフルエンザ等対応訓練
	99名	II部 講演会 『新型インフルエンザ等に関する対応の体制整備と最新動向』 講師 国立病院機構三重病院 臨床研究部 国際保健医療協力室 感染症学・免疫学研究室 谷口 清州 室長

イ 新型インフルエンザ等地域医療体制講演会

表2-(14)-イ 新型インフルエンザ等地域医療体制講演会開催状況

開催月日	参加者	内容
平成26年9月3日	99名	『新型インフルエンザ等に関する対応の体制整備と最新動向』 講師 国立病院機構三重病院 臨床研究部 国際保健医療協力室 感染症学・免疫学研究室 谷口 清州 室長

ウ 新型インフルエンザ訓練

表2-(14)-ウ 新型インフルエンザ訓練開催状況

開催月日	参加者	内容
平成26年10月29日	55名	新型インフルエンザ等発生時対応訓練 ・発生時の周知と対応の体制整備等訓練 ・連絡体制訓練 ・診療所および感染症指定医療機関における診療体制等に関する訓練 ・患者疫学調査等
平成26年11月27日	11名	新型インフルエンザ等発生時対応訓練に関する検討会 ・訓練時の課題について ・診療訓練について ・移送について

エ エボラ出血熱訓練

表2-(14)-エ エボラ出血熱訓練開催状況

開催月日	参加者	内容
平成26年12月9日	17名	エボラ出血熱に関する情報交換及び訓練（各市消防職員対象） ・エボラ出血熱患者等発生時の対応について ～エボラ出血熱の最新情報と警察・防との連携～（PPT使用） ・个人防护具の着脱訓練（実技）
平成26年12月16日	16名	エボラ出血熱等発生時の対応に関する訓練（管内警察職員対象） ・エボラ出血熱患者等発生時の対応について（PPT使用） ・个人防护具の着脱訓練（実技）
平成27年3月25日	37名	エボラ出血熱疑似症患者の移送訓練 ・エボラ出血熱疑似症患者等発生時の対応～移送～ ・DIF トランスバックを使用した移送訓練（実技）

(15) 麻しん対策シンポジウム

平成25年度に、19件の麻しんの発生がみられたため、平成26年度には、地域における麻しんの感染拡大防止のため「麻しん対策会議」を開催した。今年度は、麻しん発生から終息までの一連の対応と課題を地域で共有できるよう「麻しん対策シンポジウム」を開催し、地域の麻しん対策の推進と向上を図った。

表2-(15) 麻しん対策シンポジウム開催状況

開催月日	出席者数	主な協議内容
平成26年5月26日	105名	議題『地域における麻しん対策の推進と向上』 (1) 地域からの報告「麻しん発生を経験して」 ①麻しん発生の概要 ②学校における対策 ③市における対策 ④医療機関（院内感染対策） (2) 講演「地域における麻しん対策」 講師：川崎市健康安全研究所 岡部 信彦 所長

3 エイズ予防事業

(1) エイズ予防啓発活動実施状況

ア 講演会・講習会等開催状況

表3-(1)-ア 講演会・講習会等実施状況

実施日	場 所	活動 内容	テ ー マ	対 象	※参加人員
平成 26 年 8 月 18 日	東葛飾合同庁舎 6 階第 1 会 議室	研修会	「子どもたちの生きる力を育てる～高校生等を対象としたクラミジア感染の実態調査結果から～」	管内小中学校・高等学校・特別支援学校の養護教諭、保健体育教諭、市保健師、管内の産婦人科・泌尿器科標榜の医療機関スタッフ	44
平成 26 年 8 月 25 日	東葛飾合同庁舎 6 階第 1 会 議室	研修会	「生きるための心の教育～特別支援が必要な児に対する性教育～」	管内特別支援学校の管理者・養護教諭・保健体育教諭・一般教諭等、各小中学校の特別支援学級の担当教諭、市保健師、助産師	52
平成 26 年 8 月 26 日	東葛飾合同庁舎 6 階第 1 会 議室	研修会	「子どもたちの生きる力を育てる～セクシャリティの形成を目指して～」	管内小中学校・高等学校及び特別支援学校の校長・教頭、市保健師、助産師	32
計	3 回				128 人

(注) ※参加人員には教師等を含む

イ 街頭キャンペーン等開催状況

表3-(1)-イ 街頭キャンペーン等開催実施状況

実施日	主 な 内 容
平成 26 年 12 月 1 日	世界エイズデー啓発のため、エイズ・STD 予防啓発グッズ等を配布。 【配布物】チーバくんキーホルダー (1370 個)、リーフレット入りクリアファイル (1870 枚)、ポケットティッシュ (1270 個)、AAA パンフレット (1100 部)、チーバくんうちわ (500 個) 【配布先】聖徳大学、江戸川大学、東洋学園大学、流通経済大学、中央学院大学、あびこ助産師専門学校、千葉県特別支援学校流山高等学園、新京成電鉄 (松戸駅・八柱駅)、松戸市、流山市、我孫子市、食品衛生協会、松戸健康福祉センター窓口、我孫子連絡所

(2) エイズ相談受付状況

表3-2) エイズ相談受付状況

(単位：件)

年度	性別	相談方法	男	女	小計	合計
平成24年度		電話相談	63	120	183	245
		来所相談	30	19	49	
		その他	3	10	13	
平成25年度		電話相談	185	155	340	359
		来所相談	9	6	15	
		その他	1	3	4	
平成26年度		電話相談	87	37	124	140
		来所相談	11	3	14	
		その他	2	0	2	

(3) HIV抗体検査他性感染症検査

表3-3) -ア HIV抗体検査受付状況

(単位：件)

平成25年度 年代別	日中		夜間		合計	外国籍 者数	確認検査 件数
	男	女	男	女			
19才以下	3	2	-	2	7	-	-
20才代	58	71	15	14	158	-	1
30才代	61	40	25	14	140	-	2
40才代	45	19	12	2	78	-	-
50才代	19	6	9	-	34	-	1
60才以上	23	9	3	1	36	-	-
合計	209	147	64	33	453	0	4

表3-3) -イ 性感染症抗体検査受付状況

平成26年度 男女別	梅毒		クラミジア		合計	
	実施件数	陽性件数	実施件数	陽性件数	実施件数	陽性件数
男	254	8	249	25	503	33
女	171	2	164	33	335	35
合計	425	10	413	58	838	68

4 特定疾患対策事業及び特定医療費助成制度

(1) 受給者状況

表4-1) 特定疾患治療研究事業及び特定医療費（指定難病）助成制度受給者数

(単位：人)

疾患名 (数字は特定疾患番号)	特定疾患治療研究事業		難病法					
	H24年度	H25年度	H26年度					
			既認定者	新規認定者	松戸市	流山市	我孫子市	
総数	4,990	5,180	5,075	139	3,116	1,111	987	
1	ベーチェット病	100	108	103	6	67	19	23
2	多発性硬化症	101	106	107	2	66	26	17
3	重症筋無力症	120	129	131	5	75	39	22
4	全身性エリテマトーデス	410	398	393	5	241	77	80
6	再生不良性貧血	47	52	46	1	23	12	12
7	サルコイドーシス	107	104	111	2	59	26	28
8	筋萎縮性側索硬化症	68	74	64	2	47	9	10
9	強皮症・皮膚筋炎・多発性筋炎	266	291	285	6	183	53	55
10	特発性血小板減少性紫斑病	171	170	158	3	95	35	31
11	結節性動脈周囲炎	59	72	73	3	52	13	11
12	潰瘍性大腸炎	1,039	1,092	1,108	12	670	247	203
13	大動脈炎症候群	45	46	46	-	26	9	11
14	ビュルガー病	22	18	18	-	12	4	2
15	天疱瘡	30	30	27	2	16	6	7
16	脊髄小脳変性症	149	159	154	5	98	33	28
17	クローン病	207	230	228	2	129	51	50
19	悪性関節リウマチ	41	43	37	-	23	9	5
20	パーキンソン病関連疾患	736	723	715	41	440	167	149
21	アミロイドーシス	11	13	14	-	6	3	5
22	後縦靭帯骨化症	163	166	168	5	101	37	35
23	ハンチントン病	6	7	5	1	4	2	-
24	モヤモヤ病	75	75	71	1	49	13	10
25	ウエゲナー肉芽腫症	14	18	19	-	16	2	1
26	特発性拡張型（うっ血型）心筋症	120	125	117	2	78	21	20
27	多系統萎縮症	68	67	60	3	36	14	13
28	表皮水疱症	1	1	1	0	1	0	0
29	膿胞性乾癬	5	7	6	0	4	2	0
30	広範脊柱管狭窄症	29	30	34	5	27	7	5
31	原発性胆汁性肝硬変	161	171	158	5	96	34	33
33	特発性大腿骨頭壊死症	103	106	89	3	62	23	7
34	混合性結合組織病	46	45	48	-	25	13	10
35	原発性免疫不全症候群	10	13	12	-	8	3	1
36	特発性間質性肺炎	45	48	46	3	21	11	17
37	網膜色素変性症	164	170	173	-	109	34	30
38	プリオン病	4	4	3	-	2	-	1
39	肺動脈性肺高血圧症	7	7	8	1	5	1	3
40	神経繊維腫症Ⅰ型Ⅱ型	19	21	18	1	9	5	5
41	亜急性硬化性全脳炎	1	1	1	-	-	-	1
42	バッドキアリ症候群	3	4	2	-	-	1	1
43	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	11	15	15	1	8	3	5
44	ライソゾーム病	2	2	1	-	-	-	1
45	副腎白質ジストロフィー	4	3	3	-	3	-	-
46	家族性高コレステロール血症	1	1	1	-	1	-	-
47	脊髄性筋萎縮症	3	3	3	-	3	-	-
48	球脊髄性筋萎縮症	9	10	9	-	6	2	1
49	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	14	18	16	1	11	3	3

疾患名 (数字は特定疾患番号)	特定疾患治療研究事業		難病法					
	H24 年度	H25 年度	H26 年度					
			既認定者	新規認定者	松戸市	流山市	我孫子市	
50	肥大型心筋症	17	21	19	1	11	7	2
51	拘束型心筋症	-	1	1	-	1	-	-
52	ミトコンドリア病	6	9	10	1	6	3	2
53	リンパ脈管筋腫症 (LAM)	4	4	4	-	3	-	1
54	重症多形浸出性紅斑 (急性期)	-	-	-	-	-	-	-
55	黄色靱帯骨化症	14	14	17	-	10	4	3
56	間脳下垂体機能障害	113	118	120	8	73	28	27

表4- (2) 特定疾患治療研究事業受給者状況

疾患名	H24 年度	H25 年度	H26 年度	松戸市	流山市	我孫子市
総数	19	17	17	9	4	4
5 スモン	3	3	3	2	-	1
18 難治性肝炎のうちの劇症肝炎	2	-	-	-	-	-
32 重症急性性膵炎	14	14	14	7	4	3

表4- (3) 難病法に基づく新規対象疾患の医療費受給者状況

疾患名 (数字は指定難病疾患番号)	H26 年度	松戸市	流山市	我孫子市
総数	27	12	8	7
10 シャルコー・マリー・トゥース病	1	0	1	0
26 HTLV-1 関連脊髄症	1	1	0	0
30 遠位型ミオパチー	1	0	0	1
41 巨細胞性動脈炎	1	1	0	0
45 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	1	0	1	0
53 シェーグレン症候群	5	0	2	3
54 成人スチル病	2	1	1	0
62 発作性夜間ヘモグロビン尿症	1	0	0	1
66 IgA 腎症	4	2	1	1
67 多発性嚢胞腎	7	5	1	1
95 自己免疫性肝炎	3	2	1	0

表4-4) 特定疾患重症患者認定者数

(単位:人)

疾患名 (数字は特定疾患番号)		H24年度	H25年度	H26年度	松戸市	流山市	我孫子市
総数		611	601	577	355	108	114
1	ベーチェット病	11	10	9	4	-	5
2	多発性硬化症	31	31	31	20	6	5
3	重症筋無力症	4	4	4	4	-	-
4	全身性エリテマトーデス	23	23	20	11	5	4
6	再生不良性貧血	-	-	-	-	-	-
7	サルコイドーシス	10	10	13	9	1	3
8	筋萎縮性側索硬化症	39	46	43	29	5	9
9	強皮症・皮膚筋炎・多発性筋炎	14	15	10	4	4	2
10	特発性血小板減少性紫斑病	-	2	1	1	-	-
11	結節性動脈周囲炎	4	3	4	3	1	-
12	潰瘍性大腸炎	-	-	-	-	-	-
13	大動脈炎症候群	5	4	8	6	1	1
14	ピュルガー病	1	-	-	-	-	-
15	天疱瘡	-	-	-	-	-	-
16	脊髄小脳変性症	50	56	56	36	9	11
17	クローン病	7	9	9	7	1	1
19	悪性関節リウマチ	22	21	16	14	1	1
20	パーキンソン病関連疾患	166	146	142	84	28	30
21	アミロイドーシス	2	1	2	1	-	1
22	後縦靭帯骨化症	31	25	25	13	6	6
23	ハンチントン病	2	1	1	1	-	-
24	モヤモヤ病	5	3	5	-	5	-
25	ウエゲナー肉芽腫症	2	3	3	3	-	-
26	特発性拡張型(うっ血型)心筋症	16	15	17	12	1	4
27	多系統萎縮症	32	30	27	14	7	6
28	表皮水疱症	-	-	-	-	-	-
29	膿胞性乾癬	-	-	-	-	-	-
30	広範脊柱管狭窄症	9	9	9	6	3	-
31	原発性胆汁性肝硬変	-	3	2	1	-	1
33	特発性大腿骨頭壊死症	1	2	2	1	1	-
34	混合性結合組織病	-	-	-	-	-	-
35	原発性免疫不全症候群	-	-	-	-	-	-
36	特発性間質性肺炎	3	1	-	-	-	-
37	網膜色素変性症	75	81	86	52	20	14
38	プリオン病	4	4	3	2	-	1
39	肺動脈性肺高血圧症	2	1	1	1	-	-
40	神経繊維腫症I型II型	1	1	1	1	-	-
41	亜急性硬化性全脳炎	1	1	1	-	-	1
42	バッドキアリ症候群	-	-	-	-	-	-
43	慢性血栓性肺高血圧症	-	-	-	-	-	-
44	ライソゾーム病	1	1	1	-	-	1
45	副腎白質ジストロフィー	1	-	-	-	-	-
46	家族性高コレステロール血症	-	-	-	-	-	-
47	脊髄性筋萎縮症	3	3	3	3	-	-
48	球脊髄性筋萎縮症	4	4	4	2	1	1
49	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	2	3	3	1	-	2
50	肥大型心筋症	2	3	5	3	1	1
51	拘束型心筋症	-	-	-	-	-	-
52	ミトコンドリア病	2	3	3	1	-	2
53	リンパ管筋腫症(LAM)	-	-	-	-	-	-
54	重症多形浸出性紅斑(急性期)	-	-	-	-	-	-
55	黄色靭帯骨化症	4	5	6	5	1	-
56	間脳下垂体機能障害	-	1	1	-	-	1

(3) 特定疾患特別介護手当支給状況

表4-5) 特定疾患特別介護手当支給状況

(単位:件)

区分	年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	松 戸 市	流 山 市	我 孫 子 市
	特定疾患特別介護手当支給件数		46	33	33	18	9

(4) 先天性血液凝固因子障害治療研究費受給者状況

表4-4) 先天性血液凝固因子障害治療研究費受給者状況

(単位:件)

年度	市町村別				総 数	松 戸 市	流 山 市	我 孫 子 市
平成 24 年度					21	14	4	3
平成 25 年度					23	16	5	2
平成 26 年度					20	14	4	2

(5) 難病相談事業

ア 在宅療養支援計画策定・評価事業

表4-5)-ア 在宅療養支援計画策定・評価会議実施状況

区分	支援計画策定 実施件数	支援計画評価 実施件数	構 成 員					
			専 門 医	家 庭 医	看 護 師	理 学 療 法 士	保 健 師	そ の 他
平成 24 年度	11	11	3	6	26	4	13	90
平成 25 年度	10	10	4	-	15	6	15	80
平成 26 年度	9	9	-	1	63	4	20	43

イ 相談内容状況

表4-(5)-イ 相談内容実施状況

(単位：人)

内 容	平成24年度	平成25年度	平成26年度
相 談 者 数 (延)	2,102	1,991	1,838
申 請 等	1,283	1,925	1807
医 療	240	20	10
家 庭 看 護	338	17	8
福 祉 制 度	126	28	8
就 労	2	1	2
就 学	-	-	-
食 事 ・ 栄 養	-	-	-
歯 科	-	-	-
そ の 他	113	-	3

ウ 医療相談事業 実施なし

エ 訪問診療等事業 該当なし

オ 訪問指導事業

表4-(5)-オ 訪問指導事業実施状況

(単位：件)

疾 患 名	平成24年度	平成25年度	平成26年度
総 数	33	42	31
多 発 性 硬 化 症	-	-	-
重 症 筋 無 力 症	3	1	2
全 身 性 エ リ テ マ ト ー デ ス	-	-	-
特 発 性 血 小 板 減 少 性 紫 斑 病	-	-	-
筋 萎 縮 性 側 索 硬 化 症	27	30	16
脊 髄 小 脳 変 性 症	-	-	1
パ ー キ ン ソ ン 病	1	1	2
多 系 統 萎 縮 症	1	10	7
網 膜 色 素 変 性 症	1	-	-
神 経 線 維 腫 症	-	-	1
ミ ト コ ン ド リ ア 病	-	-	2

カ 訪問相談事業

(7) 訪問相談員派遣状況

表4-(5)-カ-(7) 訪問相談員派遣状況

年 度	区 分	人 数	回 数	実 人 員	延 人 員
平成24年度		14	156	124	156
平成25年度		12	139	96	139
平成26年度		10	114	76	114

(4) 訪問相談員育成事業

表4-(5)-カ-(4) 訪問相談員育成実施状況

月 日	主 な 内 容	職 種	人 数
平成26年 4月18日	平成25年度実績、平成26年度計画、神経難病患者の事例検討	看護師	9
平成26年 9月11日	「災害時の備えと対策」	看護師	1
平成26年 9月30日	「パーキンソン病関連疾患の理解と療養支援のあり方」	看護師	3
平成27年 2月26日	訪問看護ステーション管理者等と情報交換・事例検討	看護師	4
平成27年 3月9日	「松戸保健所の難病支援と難病医療法について」 「訪問事例の支援評価・計画」助言者：千葉県立医療大学看護学科 雨宮有子准教授	保健師 看護師	6

キ 難病患者を対象とする医療・介護従事者研修

表4-(5)-キ 難病患者を対象とする医療・介護従事者研修実施状況

月日	内 容	参加職種	参加者数(延)
平成26年 9月11日	「災害時の備えと対策～介護支援専門員の役割～」 講師：八千代市八千代台地域包括支援センター 渡辺哲也センター長	介護支援専門員、市保健師、訪問相談員	71
平成26年 9月30日	「パーキンソン病関連疾患の理解と療養支援のあり方～進行性核上性麻痺と大脳皮質基底核変性症を中心に～」 講師：東京慈恵会医科大学附属柏病院 谷口洋 神経内科部長	介護支援専門員、市保健師、訪問相談員	99
平成27年 2月26日	「難病医療法に基づく新制度について」 「平成26年度松戸健康福祉センターの難病支援状況」 「調査報告『平成24年度ALS患者療養状況調査結果』」 「平成25年度多系統萎縮症患者療養状況調査結果」 「神経難病患者の事例検討・情報交換」	訪問看護ステーション管理者・訪問相談員・市保健師・市障害福祉担当・市介護福祉担当	46

5 原爆被爆者対策事業

(1) 被爆者手帳交付状況

表5-1) 被爆者手帳交付状況

(単位：件)

年度	区分	前年度末 手帳交付数	新規	転入	転出	死亡	当該年度末 手帳交付数
平成24年度		384	-	6	3	11	376
平成25年度		376	-	1	1	14	362
平成26年度		362	1	4	1	9	357
松戸市		220	-	2	1	6	215
流山市		79	1	1	-	1	80
我孫子市		63	-	1	-	2	62

(注) 被爆者健康診断受診者証交付数は()を設けて再掲する。

(2) 被爆者健康診断実施状況

表5-2) 被爆者健康診断実施状況

(単位：人)

年度	施設		対象者数	受診者数	受診率 (%)	要精検者数
平成24年度	保健所	前期	370	34	9.2	9
		後期	367	20	5.4	8
	委託医療機関		..	141
平成25年度	保健所	前期	360	39	10.8	7
		後期	353	28	8.0	6
	委託医療機関		..	134	..	54
平成26年度	保健所	前期	349	23	6.6	1
		後期	343	24	7.0	1
	委託医療機関		..	120	..	52

(3) 特別措置法に基づく各種手当での支給状況

表5－(3) 特別措置法に基づく各種手当の支給状況

(単位：件)

区 分	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
総 数		327	320	311
医 療 特 別 手 当		16	17	20
特 別 手 当		1	1	1
原 子 爆 弾 小 頭 症 手 当		-	-	-
健 康 管 理 手 当		282	271	262
保 健 手 当		17	16	15
介 護 手 当		2	2	2
葬 祭 料		9	13	11
栄 養 手 当		-	-	-
健 康 手 当		299	288	283

(注) 栄養手当及び健康手当は、県単独事業であり総数に含まず。

6 肝炎対策事業

(1) B型肝炎・C型肝炎検査の受付状況

表6－(1) B型肝炎・C型肝炎検査の受付状況

(単位：件)

		男 性	女 性	合 計
平成 24年度	B型肝炎	196	99	295
	C型肝炎	77	55	132
平成 25年度	B型肝炎	242	157	399
	C型肝炎	234	149	383
平成 26年度	B型肝炎	271	196	467
	C型肝炎	267	191	458

(2) 肝炎治療特別促進事業受給者状況

表6－(2) 肝炎治療特別促進事業受給者状況

(単位：人)

	総数	松戸市	流山市	我孫子市
平成24年度	413	257	85	71
平成25年度	366	221	83	62
平成26年度	439	246	108	85